

【事業計画名】

二種類のレーザーを駆使した ステンレスグッズオーダーサービス

切断と彫刻の2種類のレーザーを駆使して、ステンレスに機能美と実用性に加えメモリアルとしての存在感を併せ持つグッズをはじめ、写真を忠実に再現した精緻な彫刻を木質素材にほどこしたオーダー品を、低コスト・短納期で提供する。

取 り 組 み の 背 景

当社は、原子力・エネルギー分野を中心に産業機械やプラント設備の開発・設計に携わってきた。5年程度前から原子力関連の受注量が減ったのをきっかけに、当社の技術力を生かした商品が開発できないかと考え、金属を使った家具や模型の制作を試みた。その中で、レーザー切断機を駆使してステンレス素材を切り出し、アート系インテリアに造形する手法を確立した。また、当社が得意とするデータ作成技術を用いれば、ステンレスの表面処理を変え同一素材とは思えないコントラストを表現することができる(実用新案取得済み)。レーザー切断機だけでは細部の表現に限界があるが、同時にレーザー彫刻機を駆使すれば、形だけでなく表面に加工を施した独自の造形表現が可能になる。

取 り 組 み の 目 標

- 納期の短縮
- デザイン品質向上でニーズに対応
- 販路開拓



取 り 組 み の 内 容

レーザー切断機は、出力が大きく細部の表現に限界がある上、ループ外部と内部の接続部分が必要でありデザインにも制限がある。レーザー切断機は大型設備になるため全て外注しているが、自社内でレーザー彫刻機を導入することでデザイン力を向上させるとともに、社内外で工程を同時進行して効率化を図り、納期を短縮する効果もあった。

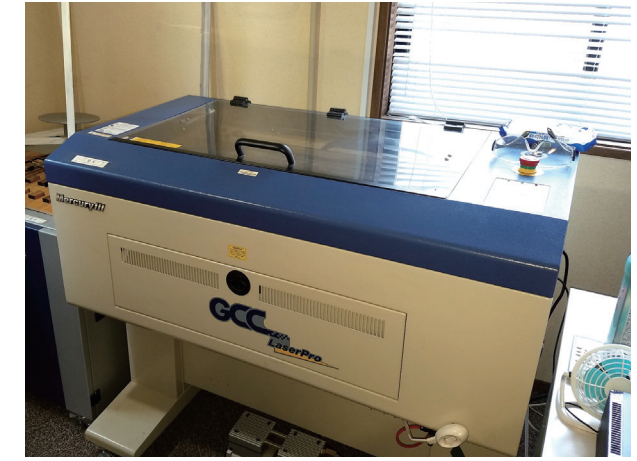
当社は、レーザー切断機用データの他、写真を忠実に再現する彫刻データ作成ノウハウも習得。これを活かし、発注者が希望する写真をデータに起こし、レーザー彫刻機を使って世界に一つしかない商品に仕上げるサービスを始めた。感性に訴える商品にするために、設定を試行錯誤してレーザー彫刻機ならではの質感を出し、発注者も驚くほどの仕上がりに達した。写真データを基にすることで、短納期やデザイン性といった消費者ニーズに応えることが可能になった。

現在は、質感と精密さを活かせる木質材への加工も加え、結婚式ウェルカムボード、店舗什器、表札、インバウンド向けお土産品、各種ノベルティなど、様々な用途への展開を考えている。

POINT 1

発注者のニーズに応える短納期とデザイン

レーザー加工は、型が不要なため、顕著な量産効果は期待できないものの初期費用は低く、1つからオリジナル商品を作れる。また、自社内のレーザー彫刻機を最大限活用することで外注先とのやり取りが減少し、2週間程度かかっていた加工が数日で可能になり、発注者のニーズに応えられるようになった。



導入したレーザー彫刻機

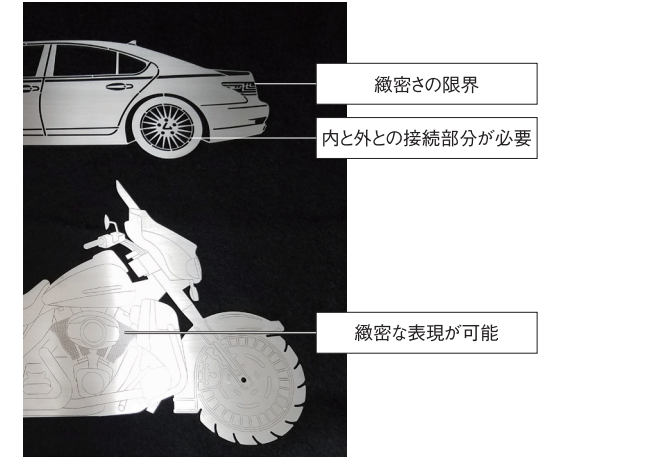


オリジナル商品のパンフレット

POINT 2

レーザー彫刻機に合うデータを作成する能力

当社の強みである設計データを作成する能力と、別途習得した写真彫刻データ作成ノウハウを活用すれば、レーザー彫刻の良さを最大限に引き出すデータを素早く作成することができる。特に、写真を基にデータを作成し木質素材に彫刻した場合、ダイナミックさと細かい表現が共存し、写真とは味わいの違った質感が得られた。



レーザー切断機(上)とレーザー彫刻機(下)による加工のデザイン性の違い



木質素材で作ったサンプル

企 業 概 要

株式会社エム・エム・エス

- 事業内容
一般産業機械、プラント設備機械の設計・製図、オーダーメイドインテリア雑貨製造・販売
- 主要生産設備
レーザー加工機(コムネット、マーキュリーIII60W&高性能集塵脱臭機)

同 社 の 強 み

解決点を見出し、全体最適を実現する設計ノウハウ

所 在 地：神戸市中央区中町通4丁目2-5
T E L：078-362-8520
設 立：平成7年7月
代 表 者：代表取締役 関山 直也
従業員数：4人(平成29年6月現在)
資 本 金：1,000万円
E-mail：n_sekiyama@mms-web.co.jp
http://www.mms-web.co.jp



株式会社エム・エム・エス
代表取締役
関山 直也氏

どこにもない最先端技術を守っていききたい

当社は原子力及び、高エネルギー関係の設計・製図を行ってきました。他社にはできないこと、価格競争に巻き込まれないことを目指し、存在価値の維持に努力しています。
深い部分を極めることは学者には勝てませんが、浅い部分を組み合わせで最適な方法を選ぶことに関しては、当社が勝っています。例えば、熱に関することだけだと、学者の専門的知識には負けませんが、熱と構造を組合せる場合の最適設計となると、学者や他社

では真似ができない専門性を当社が発揮するのです。モノを作る時に困ったことがあっても、当社にご依頼願えば解決できます。
設計データに関する技術力を生かして、今までできなかったことをできるようにしたいと考えています。今回の事業もその一環です。例えば金属素材とアクリル素材を融合させて、どこにもない新しい商品を作ることも考えています。木質素材なのに、表面は金属のように見える商品も作っています。この事業の売上高は、全体の25%程度に引き上げることが目標です。
当社では常に、最先端であることを意識して日々業務を行っています。最先端の技術者である誇りと自信を持ち、どこにも真似ができない、オンリーワンの企業であることを目指しています。